



短歌

泣きたいけれど顔は笑っている

わが想い旨く伝わらず心から

検査のため入院をしてあらためて

麻痺の身の重き理解ができた

竹内 桃子



2回シリーズ「今の自分②」

柳原 昭三

4年前の障害の程度と今の障害の程度を比べてみると、今の方が確実に重度なっていると僕は思います。

4年前までは、1人で車に乗りたり降りたりができたのに、3年前から車に乗る時も降りる時も介助が必要になっていました。でも、現在は車の運転を止めて作業所の送迎に乗っています。

一人で出かけるのが多くて、出先で困ることは、トイレです。今の公共施設等は、男性用のトイレに囲いになっている手すりがあります。4前までの僕は、囲いの手すりに寄りかかって、トイレを済ませることができました。今では囲いの手すりに寄りかかってトイレをするのが大変なってきました。

木曜の定休日は、紙おむつをつけて外出をしています。

一歩で、洗面をする時も、4年前までは、洗面台につかまって簡単に立って、何にも寄りかからないで自分の足で立って洗面をできていました。今では、洗面台につかまって立って、右手を洗面台の上に置いて、上半身を洗面台に寄りかけて洗面をしています。

「16年ぶりのあさやけ作業所」

亀井 賢太郎

6月にみんなの会の代表として、村上さんと一緒にあさやけ作業所を見学しました。僕にとっては16年ぶりのあさやけ作業所だったので、とても懐かしく感じられました。僕が居た頃と建物はあまり変わっていませんでしたが、中の様子がすっかり変わっていて驚きました。

僕が26年前当時のあさやけ作業所に入った時は、何もかも分からなかったです。でも親切にしてくれた職員さんと所員さんたちが居てくれたお陰で、今の自分が有るのだなと改めて思いました。

所員さんたちだけで行く喫茶店があって、ある日僕も初めて誘われて、行きました。初めて喫茶店で飲んだコーヒーの味は、とても美味しかったです。その当時はこういう事が、出来たのだなと思いました。コロナ禍の今では考えられませんが……。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市叫島町3-8
TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp
http://www.asayake.or.jp/kaze.html

No.324
2020年9月20日

おいしい昼食

さぎょうしょ ちゅうしょく
作業所の昼食は

なん おい
何でも美味しい

ちょうり ひと
調理してくれる人が

てつく こたわ
手作りに拘っているので

りょうり
料理にいっぱい

あいじょう こ
愛情が込められている

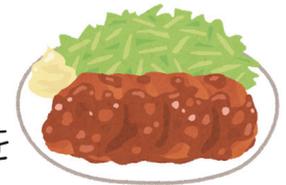
まいにちおい ちゅうしょく
毎日美味しい昼食を

つく
作ってくれて

ありがとう

た
食べられるのを

かんしゃ かんしゃ
感謝・感謝



二〇一九年

NHKハート展

応募作品より

Shozo